

JASDAQ

証券コード
2449

平成24年8月期 決算説明会



PRAP JAPAN, Inc.

平成24年10月18日

株式会社プラップ ジャパン

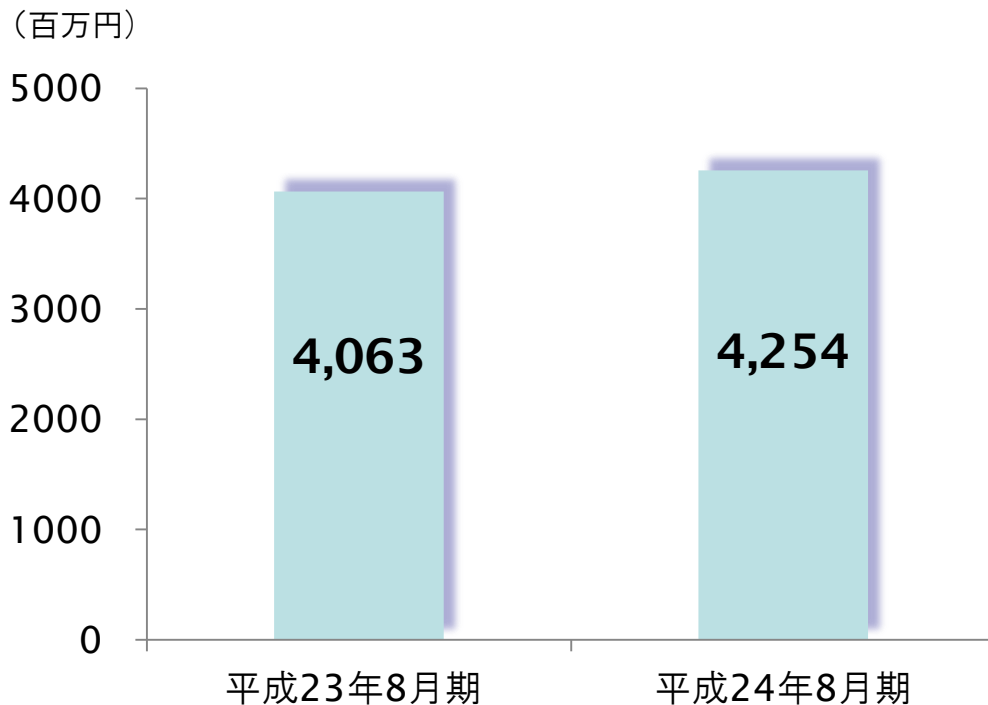
平成24年8月期 連結業績の概況

(単位:百万円)

| | 平成22年8月期 実績 | 平成23年8月期 実績 | 平成24年8月期 実績 | 前期比 | 予想比 |
|-----------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|
| 売上高 | 4,045 | 4,063 | 4,254 | 4.7% | 13.8% |
| 営業利益 | 476 | 422 | 447 | 5.9% | 19.3% |
| 経常利益 | 460 | 427 | 447 | 4.6% | 21.1% |
| 当期 純利益 | 250 | 171 | 214 | 21.7% | 34.3% |

※予想比は平成23年10月14日発表の「平成24年8月期 業績予想」との差異

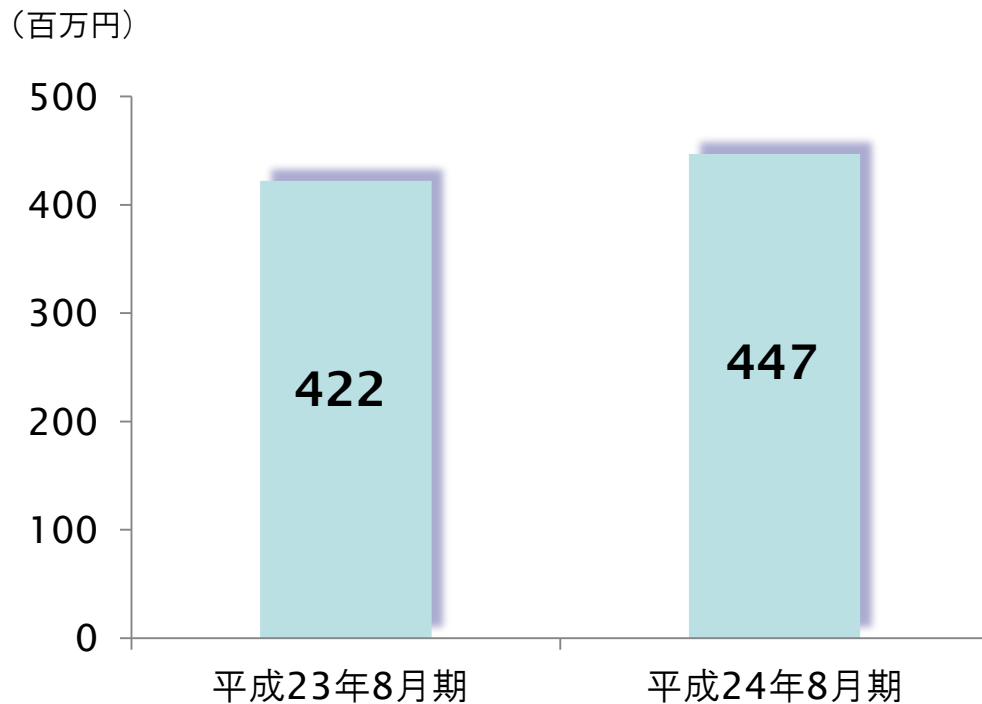
売上高の推移



要因

- リテナー契約を結ぶ既存顧客からの短期プロジェクトやイベントの受注が相次ぐ
- 成長が期待されるIT分野や大型商業施設の新規リテナー案件の獲得
- 中国事業では「新浪微博」を活用したサービスが好調に推移

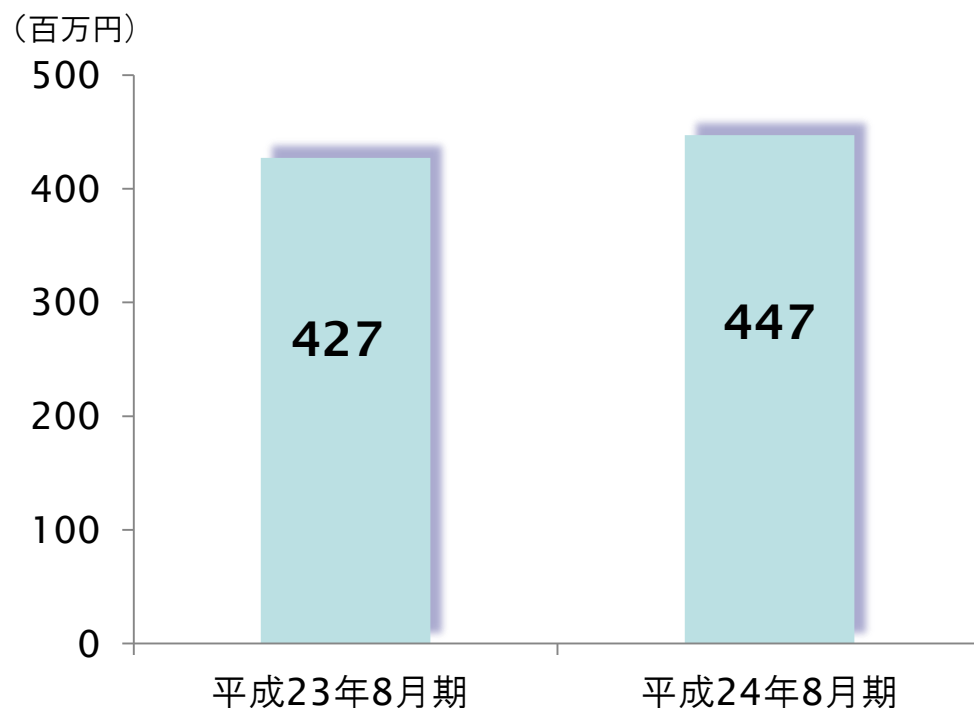
営業利益の推移



要因

- 売上高の増収分に伴う利益増加
- 大型のコンサルティング案件の獲得による利益の向上

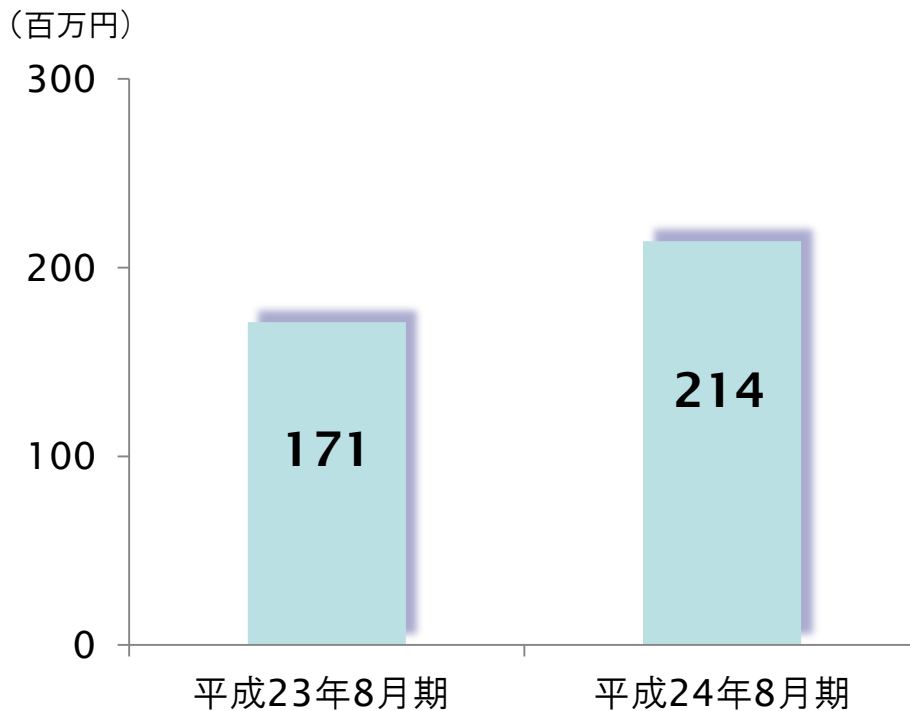
経常利益の推移



要因

- 営業利益の増益に伴うもの
- 受取配当金は前年並みだが、為替差損、投資有価証券評価損の計上

当期純利益の推移



要因

- 経常利益の増益によるもの
- 前連結会計年度に計上した事務所移転費用の引当金繰り入れなどによる特別損失の影響

平成24年8月期 部門別売上の概況

(単位:百万円)

| | 平成22年8月期 実績 | 平成23年8月期 実績 | 平成24年8月期 実績 | 前期比 |
|---------------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| コミュニケーション サービス部門 | 3,714 | 3,840 | 3,928 | 2.3% |
| クリエイティブ サービス部門 | 330 | 222 | 325 | 46.6% |
| 合計 | 4,045 | 4,063 | 4,254 | 4.7% |

部門別業績の概況

コミュニケーションサービス部門(CS)

- 業務引き合いの問い合わせは回復傾向
- 新規リテナークライアントとして小売、金融サービス、製薬、人材業、鉄道、アパレルなどの企業を獲得
- デジタルインフラを活用したPR施策は依然求められる傾向
- 中国子会社で、中国ミニブログサービス「新浪微博(シナ・ウェイボー)」を活用したコンサルティングサービスが好調に推移

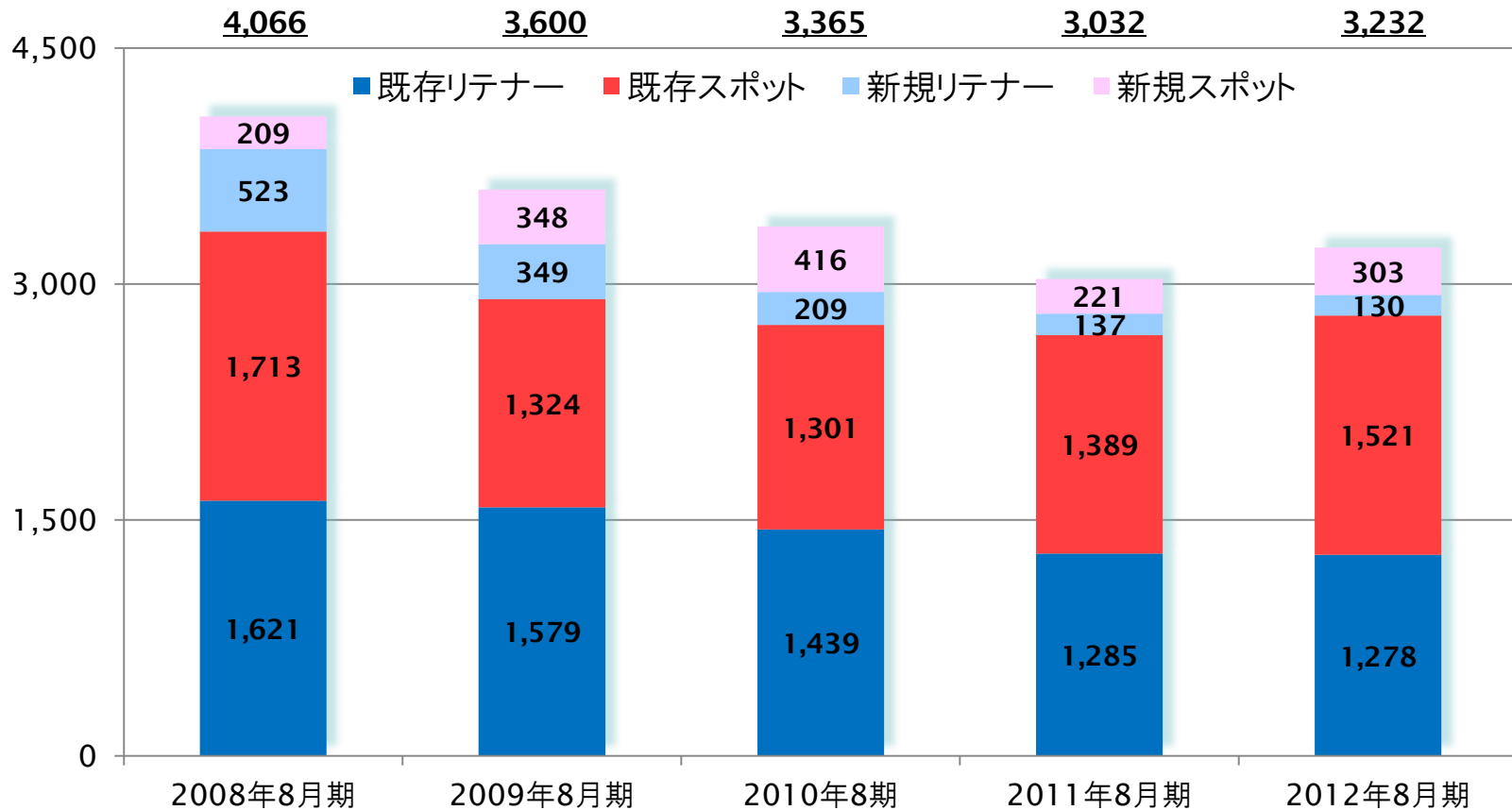
クリエイティブサービス部門(CR)

- イベント業務は、食品、消費財メーカー、飲料のPRイベント、地方自治体のブランディング業務、医療機器メーカーの新製品発表会などを受注
- 制作業務ではヘルスケア関連会社、コンサルティング会社、鉄道、商業施設の制作物や医療系会社の記念誌などを受注

営業活動の概況

契約形態別売上構成比

単位:百万円



* 数字はプラップジャパン単体の数字

第42期のピックス

プラットフォーム「新浪微博」(シナ・ウェイボー)における 日本企業オフィシャルアカウントの運営支援サービスを開始

ユーザー数2億人を突破し、現在中国で最も影響力を持つソーシャルメディアの一つとして急成長を遂げている、ミニブログサービス最大手「新浪微博(シナ・ウェイボー)」における、日本企業のオフィシャルアカウントの立ち上げから日常の情報発信まで、一括して運営支援を行うサービスを開始

赤坂アークヒルズに本社移転

オフィス環境の整備により業務効率の一層の効率化を図るため、本社移転

DPRPセミナー開催

2012年2月:「2012年の検索エンジン潮流とデジタルPR

～Google+導入、ソーシャルメディアの影響をふまえて～

2012年4月:「Facebookのビジネス最適化とデジタルPR」

2012年5月:「デジタルPR セミナー」webサイトの集客戦略を最新事例を交えて紹介

2012年6月: 最新デジタルPR事情を事例で解説～結果を出すためのマーケティングプランとその実践～

2012年8月:「自社サイトのメディア化(オウンドメディア 化)とデジタルPR)」

2012年11月:SUUMOの事例で「ブランド戦略とソーシャルメディア活用の成功例を学ぶ」

平成25年8月期 連結業績の見通し

第2四半期連結
累計期間

通期

(単位：百万円)

売上高

2,127 (0.3%)

4,404 (3.5%)

営業利益

204 (11.9%)

521 (16.5%)

経常利益

200 (7.7%)

516 (15.4%)

当期
純利益

102 (39.9%)

272 (27.3%)

1株当たり
当期純利益

25円68銭

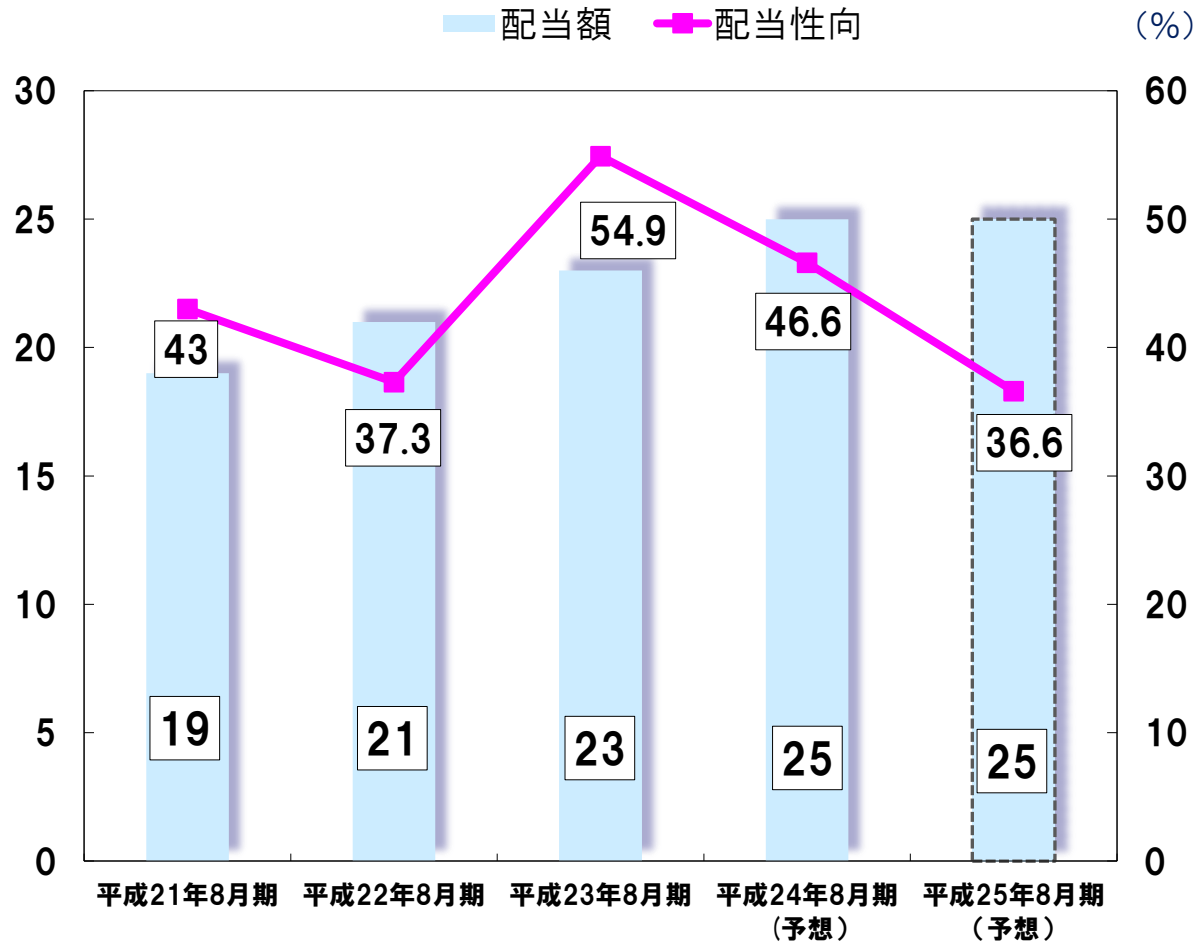
68円23銭

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

平成25年8月期 連結業績の見通し

- 広報予算の支出に対する抑制姿勢は継続
 - 競合間における受注競争、価格競争の激化
- 当期、拡大傾向に移行したことから売上は堅調な推移を想定
- 中国では日本企業に対する市場の受け入れが不透明なことから成長率の維持に対しては慎重な姿勢
- 営業活動の強化

配当推移



◆ 平成25年8月期(予想)
配当予想 25円
配当性向 36.6%

◆ 前期比2円増配
配当金額 25円
配当性向 46.6%

今後の成長戦略

既存顧客への営業深耕および新規先への開拓の強化

新しいPRサービスの開発

自社のマーケティング強化

M & Aおよび業務提携契約の推進

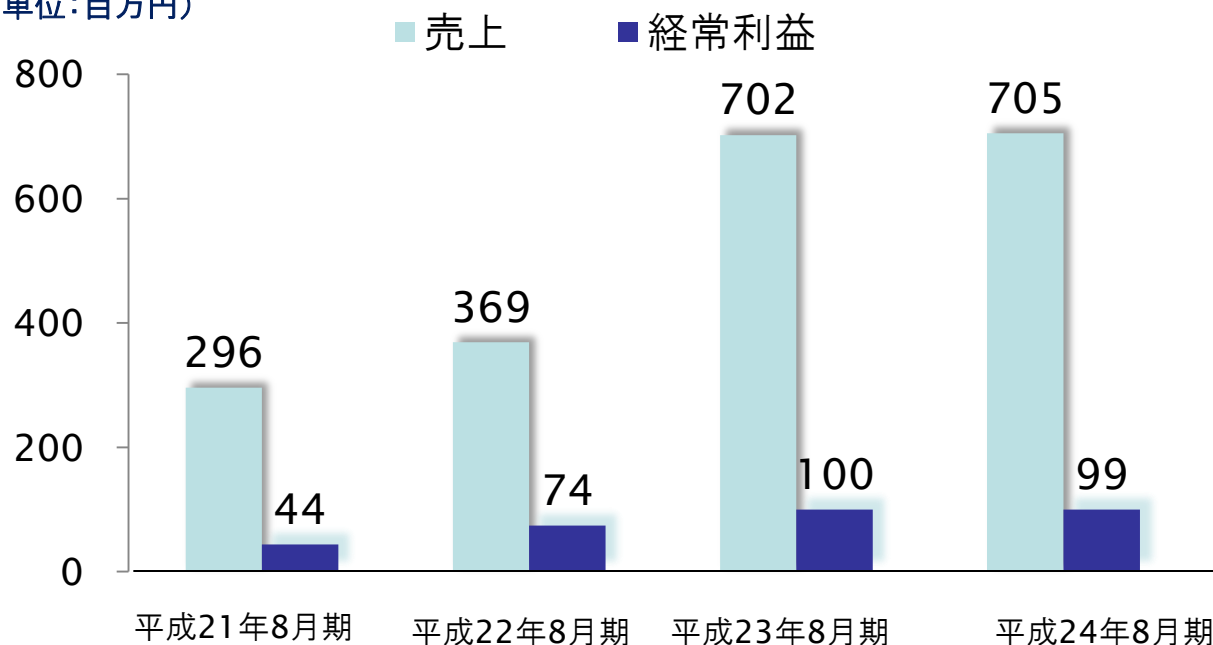
中国事業の拡大・
企業のグローバル化に合わせたコミュニケーション活動支援

中国事業の業績推移

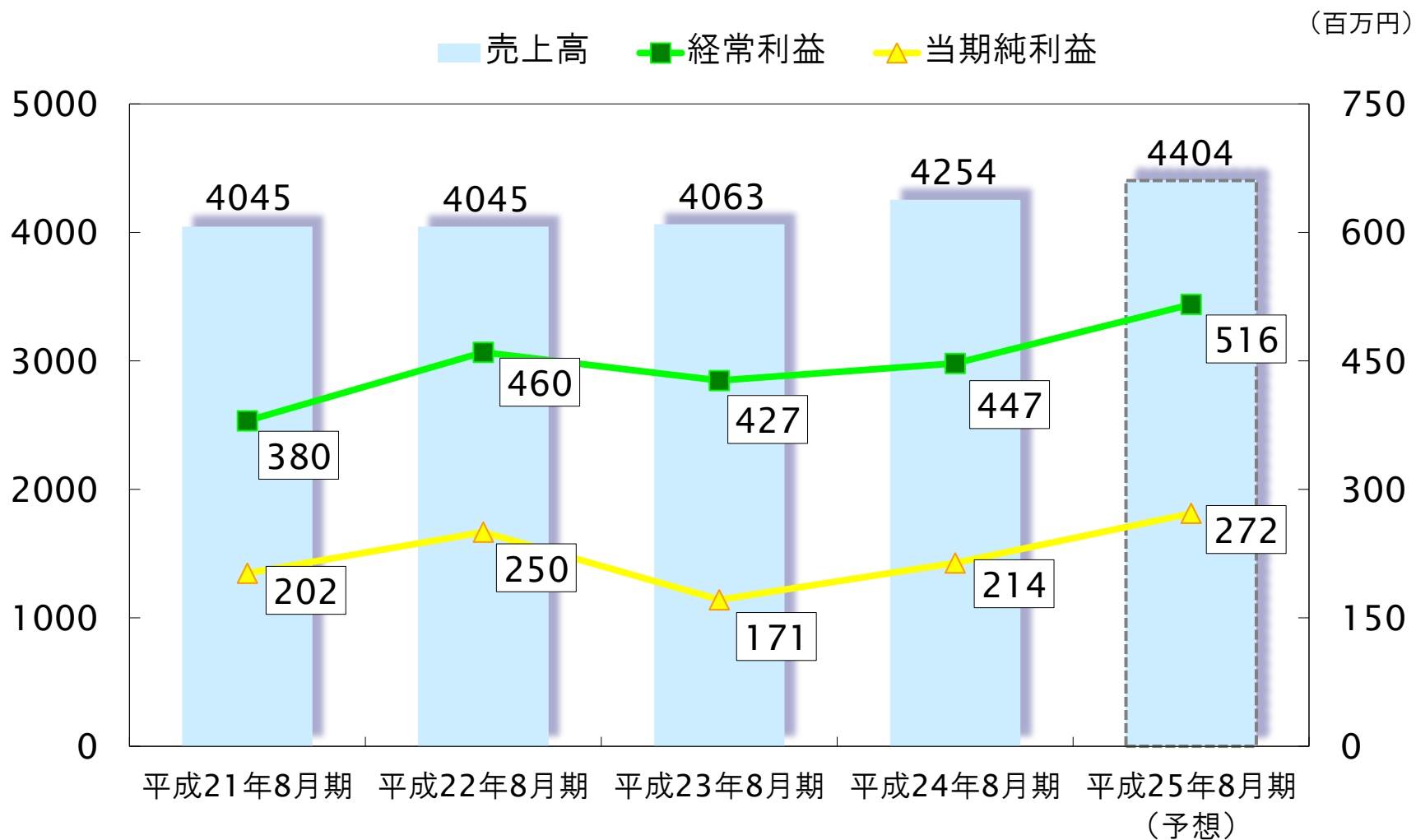
(単位:百万円)

| | 平成21年 8月期 | 平成22年 8月期 | 平成23年 8月期 | 平成24年 8月期 |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 売上高 | 296 | 369 | 702 | 705 |
| 経常利益 | 44 | 74 | 100 | 99 |

(単位:百万円)



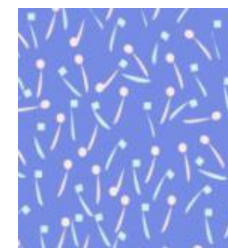
【参考】業績推移



プラップジャパンの概要

会社概要

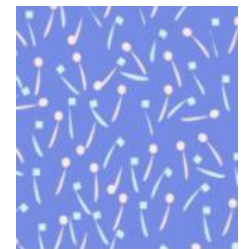
- 創 立 1970年
- 資 本 金 4億7千万円
- 代 表 者 代表取締役社長 杉田 敏
- 本 社 東京都港区赤坂1丁目
- 連結売上高 42億5,400万円(平成24年8月期)
- 連結従業員数 254名(平成24年8月末現在)



PRAP JAPAN, Inc.

会社概要

- 連結子会社
 - 普楽普公共関係顧問有限公司〈プラップチャイナ〉
 - 株式会社ブレインズ・カンパニー
 - 株式会社旭エージェンシー
 - 北京博瑞九如公共関係顧問有限公司〈ブレインズチャイナ〉
- 資本・業務提携(海外ネットワーク)
 - **Ogilvy Public Relations Worldwide**
- 2005年7月にJASDAQに上場



PRAP JAPAN, Inc.

事業概要

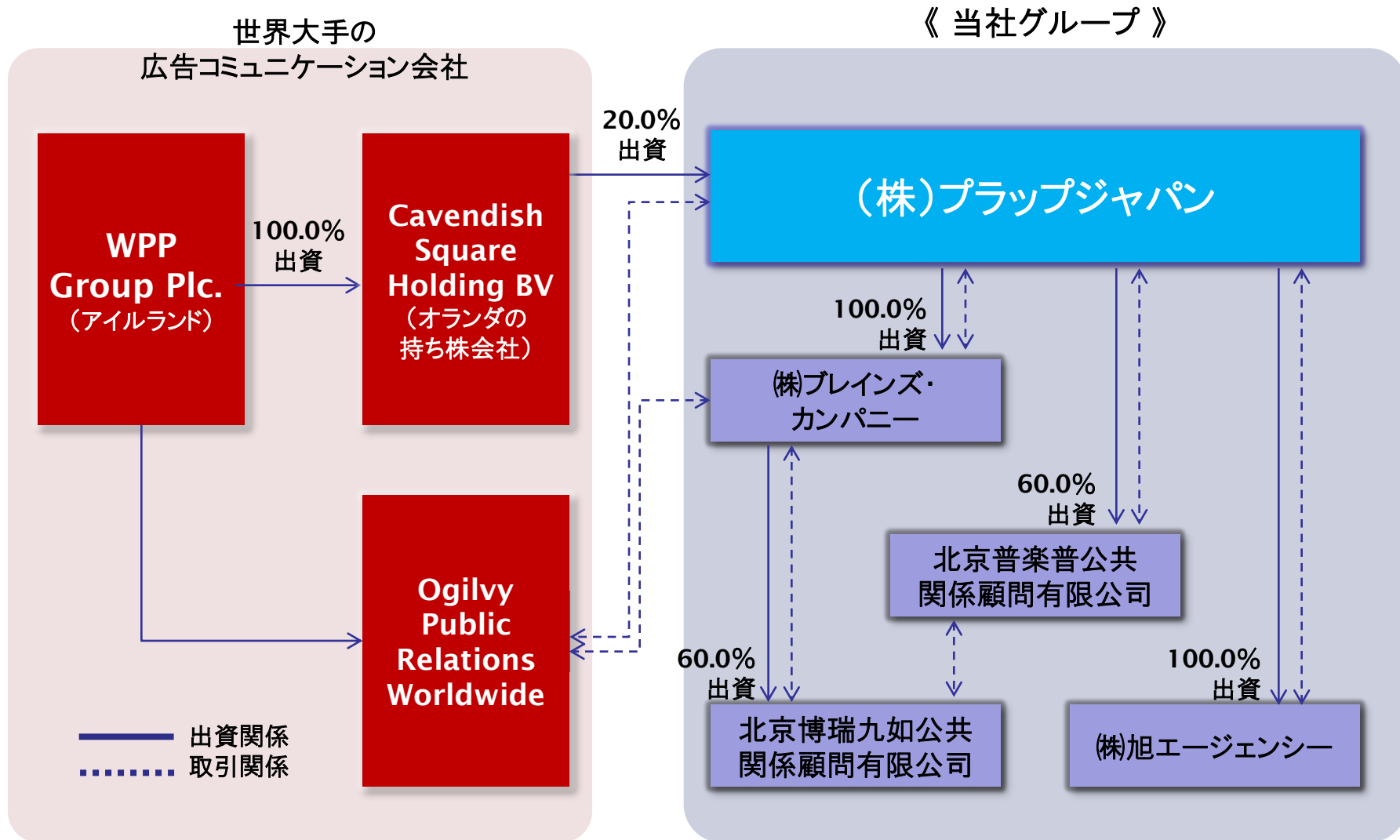
コミュニケーションサービス

- コーポレート/マーケティングPR
包括契約によるコンサルティング/プランニングから実行、レビューまで支援
- 危機管理コンサルティング
コミュニケーションにおける危機管理・イシュー対応に関して総合的に支援
- コミュニケーショントレーニング
企業トップや広報担当役員、広報担当などのコミュニケーショントレーニングを実施
- デジタル・インフルエンس
デジタルメディア領域でのコミュニケーション活動支援
- WEB向けプレスリリース配信サービス
国内大手のポータルサイトにプレスリリースを配信・掲載し、企業情報をネット上で波及させる配信の実施
- その他のサービス
- ウェブコミュニケーション
Websiteの構築をはじめとして、日々新しく誕生するデジタルメディアに対する有効的かつ効果的なコミュニケーションを支援

クリエイティブサービス

- イベント制作
PRイベントの企画・演出から運営に実施
- 編集制作
コミュニケーションに関する各種制作物の企画・デザイン・編集・制作を実施

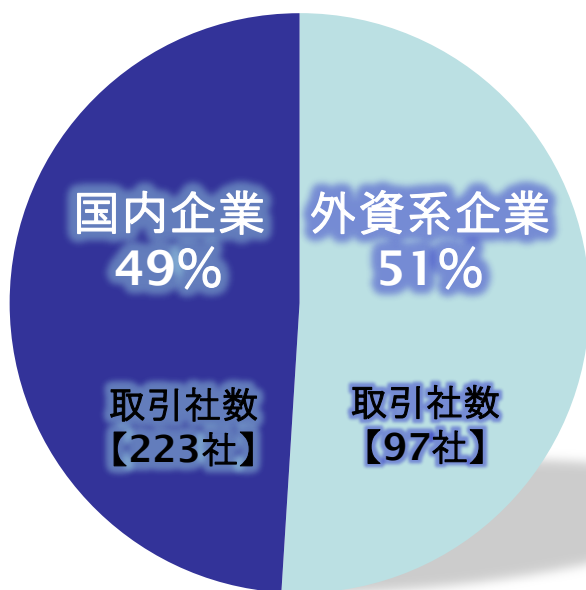
WPP Group Plc.との関係



成長を支える高収益構造

- 経営戦略の一環としてコミュニケーションを重視する外資系企業の売上比率が半数を占める

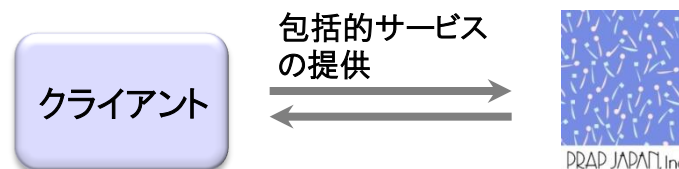
売上高比率



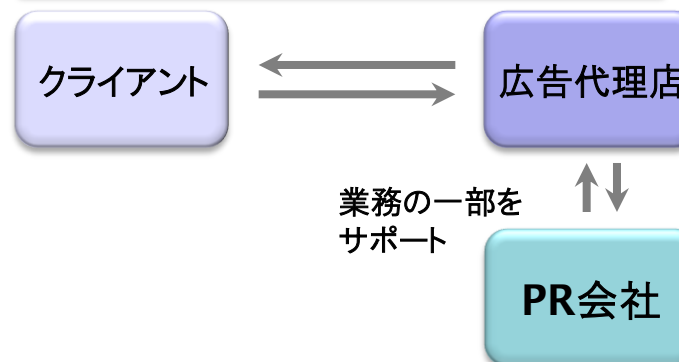
(平成24年8月期)

- 直接取引がもたらす高い利益率。取引の約90%は代理店を経由しない直接契約

直接契約



代理店経由



本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。ご承知おきください。

お問い合わせ

株式会社プラップジャパン 広報・IR室

TEL:03-4580-9125 E-mail:ir_info@ml.prap.co.jp